

【ねがいましては】

第61号

平成6年1月25日
共和珠算学習塾

「まちがえは人の役に立つ」

以前、TVで（3年B組、金八先生）というドラマがあって、正確ではないのですが、武田鉄矢さんが次のようなことを言っていたのを覚えています。

昔、ある人が「ふぐ」このとてつもない美味しいふぐのどこに毒があるのか、勇気を振り絞って「ほね」に毒があるものと思い、「ほね」だけを残して食べた。だがこの人は残念なことに苦しみながら息をひきとる前に、こう言い残した。「くやしい、ほねではなかった。きっと心臓に違いない」と、言い残してこの世を去った。そして、この言葉を聞いていたある人が、またまた勇気を出して、心臓を残して食べた。ところがやはり苦しみだして、息をひきとる前に「心臓ではなかった、肝臓だろう」と言い残してこの世を去った。

このようにして多くの勇気ある命がけの失敗が、このおいしい「ふぐ」のどこに毒があるのかを見つけていった。この失敗がなかったら、ふぐ料理なんてなかったかも？

つまり、人が成長し続けるためには「失敗」はかかせない、しかもその中には「勇気」が隠されている。勇気のない人には「失敗」はできないことになる。

こんなような内容のお説教があったと思います。

さて、「失敗」と聞くと、良いことのようには聞こえません。どちらかというと悪いことのように受け取られがちです。でも、「ふぐ」のお話のように失敗がしっかりと今の我々に多くの良いことをもたらしてくれています。

大切なこと、失敗してもそこであきらめなかつたこと。世間の人がどんなにあきれ返ることでも、失敗し続けたのです。

今、学校の勉強でも失敗だらけでしょげかえっている君たち！

失敗はけっこう良いことへつながることに気がつきましたか？ この「失敗したっていい」って思って行動したことの方が、もっともっとすごいって思いませんか？

確かに失敗して他人に迷惑をかけることもあります、勉強での失敗はけっこう迷惑をかけずすむことが多いように思います。

だったら、失敗恐れるに足らず、どんどん失敗して「失敗名人」になってみたら？

けっこうそこいらへんから勉強が楽しくなっていくかもしれません。

2月の予定

1月29日（土） 4級以下検定試験・・・共和珠算塾

30日（日） 3級以上検定試験・・・中央商業高校

*当日の細かいことは前日に教室で伝えます。

2月 6日（日） 湯島天神にて「チビッコそろばんまつり」TVニュース等で放映予定

当教室から 坂上 真帆ちゃん、石岡 武君、福田 航介君、安瀬 阿由美ちゃん
鶴見 啓幸君の5名が参加します。

8日（火） 検定試験合格発表

東京第2地区通信競技大会・・・当教室